

1. 科目名 (単位数)	地域福祉論 (4 単位)		3. 科目番号	SFMP2104 SSMP2104 SCMP2104 SBMP2104
2. 授業担当教員	卯尾 章			
4. 授業形態	講義、グループディスカッション・作業及び発表		5. 開講学期	春期/秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係				
7. 講義概要	本講義では地域福祉の基本的な考え方をはじめ、地域福祉に関わる組織・団体や専門職、住民の主体形成の概念、福祉行財政の実施体制や福祉計画の意義、包括的支援体制の考え方などについて学ぶ。現代の地域福祉を取り巻く問題として社会的孤立や 8050 問題、生活困窮者支援、災害時の支援などについても取り扱う。本科目は社会福祉士および精神保健福祉士受験資格の指定科目である「地域福祉と包括的支援体制」に対応するものである。			
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域福祉の基本的な考え方 (概念と理論、歴史など)、展開、動向について理解できる。</li> <li>2. 地域福祉における主体と対象を理解し、住民の主体形成の概念を理解できる。</li> <li>3. 地域福祉を推進するための、福祉行財政の実施体制と果たす役割について理解できる。</li> <li>4. 地域福祉計画をはじめとした福祉計画の意義・目的および展開を理解できる。</li> <li>5. 包括的支援体制の考え方と、多職種及び多機関協働の意義と実際について理解できる。</li> <li>6. 地域生活課題の変化と現状を踏まえ、包括的支援体制における社会福祉士及び精神保健福祉士の役割を理解できる。</li> </ol>			
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート(配布プリント)は、6 回～8 回に1回提出。・確認テストを前半1回、後半に総括テスト実施。</li> <li>・レポート課題：あなたが住んでいる地域の地域生活課題を調べ、どのような取り組みが必要なのかを考えてみましょう。(レポート形式については、授業で指示します)</li> </ul>			
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編 『最新 社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座 6 地域福祉と包括的支援体制』中央法規。</p> <p>【参考書】 『社会福祉学習双書』編集委員会編『社会福祉学習双書 2021 第 8 巻 地域福祉と包括的支援体制』全国社会福祉協議会。 東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。</p>			
11. 成績評価の規準と 評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6 つの目標について関心を高め、意欲的に取り組むことができたか。(関心・意欲・態度)</li> <li>・6 つの目標について学習し、理解することができたか。(知識・理解)</li> <li>・6 つの目標について思考し、考察を深めることができたか。(思考・判断・実践)</li> </ul> <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 受講態度・参加姿勢等 40% (全授業の 3/4 以上の出席が必要) 遅刻 (10 分程度迄) は 3 回で 1 回休みとなる。</li> <li>2. 試験及びレポート 60%</li> </ol>			
12. 受講生への メッセージ	講義内容に関心を持ち、教科書等だけでなく、新聞、TV、インターネット等で、現実にどのような社会福祉問題が起きているのかを自ら情報収集し、その解決のためにどうすればよいかを自分なりに考えてください。わからない用語などは調べましょう。いつも積極的に問題意識をもち、授業に臨んでください。事前学習時に教科書を読み、ワークシート(配布プリント)の空欄に適語を入れ授業に臨んでください。			
13. オフィスアワー	授業内 (初回授業) においてお知らせします。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容		学習課題	
第 1 回	オリエンテーション 地域社会の概念、理論について		事前学習	教科書 はじめにと pp. 2～10 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
			事後学習	コミュニティ政策の動向について整理しておく。
第 2 回	地域社会の変化		事前学習	教科書 pp. 11～19 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
			事後学習	地域社会の変化による課題と対応策について整理しておく。
第 3 回	多様化・複雑化した地域生活課題について		事前学習	教科書 pp. 20～30 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
			事後学習	地域生活課題とニーズについて整理しておく。
第 4 回	地域福祉の概念と社会的孤立について		事前学習	教科書 pp. 31 から 36 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
			事後学習	地域福祉概念と政策上の位置づけについて整理しておく。
第 5 回	地域包括ケアシステムについて		事前学習	教科書 pp. 38～43 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
			事後学習	地域包括ケアシステムの考え方、展開について整理しておく。
第 6 回	生活困窮者自立支援の考え方について		事前学習	教科書 pp. 44～54 を読み、語彙を調べ、ワーク

			シートに取り組む。
		事後学習	生活困窮者自立支援制度の概要について整理しておく。
第7回	包括的支援体制と地域共生社会の実現について	事前学習	教科書 pp. 55～64 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	包括的支援体制に向けての展開について整理しておく。
第8回	包括的支援体制構築事業等の各種施策について	事前学習	教科書 pp. 65～75 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	多機関協働による包括的支援体制構築事業の取組みについて整理しておく。
第9回	地域福祉ガバナンスについて	事前学習	教科書 pp. 76～82 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	ガバナンスの考え方と多機関協働の必要性について整理しておく。
第10回	多機関協働を促進する仕組みについて	事前学習	教科書 pp. 83～91 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	各種相談機関の連携協働の仕組みについて整理しておく。
第11回	保健・医療・福祉にかかわる多職種連携について	事前学習	教科書 pp. 92～103 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	多職種連携を促進する要因やコンピテンシーについて整理しておく。
第12回	福祉以外の分野との機関協働の実践について	事前学習	教科書 pp. 104～115 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	福祉以外の分野と地域で協働することでの効果について整理しておく。
第13回	地域福祉の概念・理論、歴史について	事前学習	教科書 pp. 116～134 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	地域福祉をめぐる理論的な視点と歴史について整理しておく。
第14回	地域福祉の動向と推進主体について	事前学習	教科書 pp. 135～157 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	地域生活課題に対応する地域福祉の新たな動向、推進主体、福祉教育等について整理しておく。
第15回	(第1～14回)授業のまとめ、確認テスト	事前学習	学習した教科書、ワークシートと授業内容を確認整理しておく。
		事後学習	(第1～14回)授業の復習をして理解を深める。
第16回	地域を基盤としたソーシャルワークの展開 (1)地域を基盤としたソーシャルワークの方法	事前学習	教科書 pp. 158～167 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	地域を基盤としたソーシャルワークの概念について整理しておく。
第17回	地域を基盤としたソーシャルワークの展開 (2)住民の主体形成の意義、方法	事前学習	教科書 pp. 168～181 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	主体形成方法としてのコミュニティワークについて整理しておく。
第18回	地域を基盤としたソーシャルワークの展開 (3)具体的な展開	事前学習	教科書 pp. 182～199 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	事例を通じたソーシャルワークのポイントを整理しておく。
第19回	非常時や災害時における法制度について	事前学習	教科書 pp. 200～218 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	法制度の変遷等について整理しておく。
第20回	非常時や災害時における総合的かつ包括的な支援について	事前学習	教科書 pp. 219～239 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	被災者が置かれる状況について整理しておく。
第21回	福祉計画の定義、歴史的展開について	事前学習	教科書 pp. 240～247 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	福祉計画の機能について整理しておく。
第22回	市町村地域福祉計画、都道府県地域福祉支援計画について	事前学習	教科書 pp. 248～258 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	歴史的変遷について整理しておく。
第23回	福祉計画の策定過程と方法について	事前学習	教科書 pp. 259～267 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	福祉計画の過程と特徴について整理しておく。
第24回	福祉計画におけるニーズ把握について	事前学習	教科書 pp. 268～275 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。

		事後学習	ニーズの概念・類型等、整理しておく。
第25回	福祉計画における評価について	事前学習	教科書 pp.276～285 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	評価の方法・技術の留意点等、整理しておく。
第26回	福祉行財政システム (1)国・都道府県の役割について	事前学習	教科書 pp.286～291 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	福祉行政体制について把握整理しておく。
第27回	福祉行財政システム (2)市町村の役割、国と地方の関係について	事前学習	教科書 pp.292～300 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	地方分権改革について整理しておく。
第28回	福祉行財政システム (3)福祉行政の組織および専門職の役割について	事前学習	教科書 pp.301～311 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	専門機関、専門職について整理しておく。
第29回	福祉行財政システム (4)福祉における財源について	事前学習	教科書 pp.312～323 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	国、都道府県、市町村、民間の財源について整理しておく。
第30回	(第16～29回)授業のまとめ、総括テスト	事前学習	学習した教科書、ワークシートと授業内容を確認整理しておく。
		事後学習	(第16～29回)授業の復習をし、理解を深める。